



仲よく やりぬく たくましい子

令和3年(2021年) 2月22日発行 文責 校長 山本 剛

ありがとう週間より・感謝の気持ちを込めて
校長室では6年生が「夢を語る会」

早いもので、2月も最終週となりました。三寒四温（冬季に寒い日が三日続くと、その後四日間ぐらいは暖かい）の言葉通り、春の気配は感じられますが、日々の寒暖の差が大きく体調管理が大切です。

さて、卒業式まで一か月をきり、卒業に向けての様々な取組が始まっています。その中で在校生が6年生、6年生が在校生等に感謝の気持ちを伝える「ありがとう週間」が行われています。さらに6年生は、昼休みに校長室で「将来の夢や目標、中学生になったら楽しみなこと等」を語ってくれています。短時間ですが、一人一人の様々な思いを聞くことができ、とても嬉しく思っています。

在校生からの「ありがとう」を紹介します。（敬称略）

○六年生のみなさんへ、小学校生活はどうでしたか。ぼくは、六年生といっしょに過ごせて楽しかったです。ぼくは三年生の時から六年生を尊敬していました。一年しか、歳は変わらないのに、とても明るいクラスで、男女関係なく遊んだり話したりしてすごいと思っていました。ぼくは、女子とはあまり会話ができません。理由は、女子と話しているとからかわれそうだからです。でも六年生を見ていて変わりました。少しずつ女子と話していったら、女子の友達も少しできました。ぼくは、六年生のおかげだと思いました。中学生になっても、友達をいっぱいつくって部活動等を頑張ってください。

（5年 []）

○クラブで、やさしくしてくれたり、助けてくれてありがとうございました。休み時間にいっしょに「警泥（ケイドロ）」をしてくれてありがとうございました。四年間、私たちを見守ってくれてありがとうございました。

（4年 []）

○いつも登校や下校の時に、安全にサポートしてくれてありがとうございます。他にクラブの時にわかりやすく説明してくれてありがとうございます。「警泥」の時も入ってくれたので、とても楽しかったです。

（4年 []）

○ぼくは六年生がやさしいと思いました。なぜかと言うと、こけた時やけんかをしていた時に声をかけてくれたからです。中学校に行っても勉強や色々な事にがんばってください。ぼくは皆さんのことを忘れません。

（3年 []）

○登下校の班長をしてくれてありがとうございました。運動会のスケジュールやダンス、藤樹デーの色々なことを教えてくれてありがとうございました。中学校に入学してもがんばってください。

（2年生より）

○そうじを教えてくれたお陰ですごく上手になりました。中学生になってもがんばってください。

（1年 []）

○いっしょに鬼ごっこに混ぜてくれてありがとう。中学校に行っても遊んでね。6年生、とても格好良かったです。

（1年 []）

4年生・1/2成人式より

4年生は2月16日(火)に1/2成人式を実施しました。コロナウィルス感染症拡大防止のため、例年の歌や呼びかけを行わず、内容を精選しての実施となりました。27名、一人一人の「将来の夢、どんな大人になりたいか、保護者への感謝の言葉」の後、1/2成人証書を手渡しました。

その後、子どもたちに二つのことを話しました。一つは「感謝の気持ちをもつこと、特に今日は今までの10年間大切に育ててくださったお家の方への感謝の気持ちを持つこと」、もう一つは「この先、10年後社会は大きく変化していることが予測されるけれど、自分の夢や目標に向かって努力することが大切」だと話しました。4月からは上学年、しっかりと6年生を支える存在になってほしいです。

子どもたちが発表した「将来の夢、どんな大人になりたいか、保護者への感謝の言葉」の一部を紹介します。(敬称略)



【1/2成人証書を手に新たな出発へ】

○ぼくは将来、科学者になりたいです。この夢をもったのは三年生の時です。三年生の時に、将来の夢を考える授業で、人のために色々な発明をしたいと思ったからです。みんなのために色々な発明ができるように、理科の授業の時は、先生の話をよく聞き、自分から発表したり実験をします。あと自主学习で復習をやります。簡単に科学者にはなれないと思いますが、いっぱい努力をして立派な科学者になりたいです。()

○私は大人になったら、やさしく人助けができる大人になりたいです。やさしく人助けができる大人になりたいと思ったのは、二年生の時です。今、中学二年生が六年生の時、毎日いっしょに遊んでくれたり、友達がこけたりしたら助けてあげたりしていたのがきっかけです。そして、やさしく人助けができる大人になるために、年下の子たちにやさしく接したり助けてあげたりすることを心がけていきます。私は人を笑顔にしてあげたいです。困っている人や悲しんでいる人が少なくなるためにがんばります。()

○私はお母さんにメッセージを言います。初めにいつも私を助けてくれてありがとうございます。私は、いつもお母さんに頼ってばかりだったから、これからはお母さんが私にしてくれてくれた分お返しをしたいと思います。その一つとして、おいしい料理を作ってあげたいです。そのために、料理の練習をしたり、一緒に作りたいたいです。他にもお手伝いをしてお母さんを少しでも楽にしたいです。()

県書き初め展・京都新聞書き初め展より

滋賀県書初め展、京都新聞書初め展の表彰の記録の一部を紹介します。この他にも銀賞銅賞、努力賞にたくさんの方が選ばれています。《敬称略》

《第60回記念 滋賀県書初め展覧会》

【金賞】	(1年生)	(1年生)	(1年生)
	(1年生)	(2年生)	(3年生)
	(4年生)	(4年生)	(4年生)
	(4年生)	(4年生)	(5年生)

《第36回京都新聞・滋賀書初め展》

【推薦】 (5年生・滋賀県書教育研究会賞)